

事 務 連 絡  
平成23年6月14日

各都道府県消防防災主管部(局)長 殿

消防庁救急企画室長

### 熱中症対策の推進について

平素より、救急行政の推進について御理解、御協力いただき御礼申し上げます。

さて、気象庁の発表によると、本年の夏（6～8月）の平均気温は、平年並みか高いとの予報となっており、ともに、本年の夏は、厳しい電力供給の状況を踏まえ、政府として国民の皆様に節電の取組をお願いしているところではあります。

このような状況を踏まえ、例年にも増して、熱中症対策に万全を期す必要があることから、「熱中症対策リーフレット」を作成するなど下記のとおりその対策についてまとめましたので、衛生主管部（局）をはじめ関係各局とも連携の上、各地域の実態に応じた熱中症対策の推進について宜しくお願い致します。

つきましては、本主旨をご了知の上、貴管内市町村（消防の事務を処理する組合を含む。）や各地域メディカルコントロール協議会にも周知のほどお願い致します。

### 記

#### 1 市民等への積極的な情報提供（注意喚起）

(1) 市民等に対し「熱中症対策リーフレット」（別添）等を活用した積極的な呼びかけの実施

※ 「熱中症対策リーフレット」は、昭和大学病院三宅康史准教授、国立環境研究所小野雅司フェロー、東京消防庁、さいたま市消防局、千葉市消防局の協力を得て作成したものです。

(2) 防災行政無線や広報車等の活用による猛暑時の注意喚起の実施

(3) 応急手当指導講習や関係機関と連携したイベント等の開催による情報提供の実施

#### 2 救急活動時における留意事項

(1) 傷病者への対応

ア 救急隊員等に対する熱中症に関する知識の再確認

イ 地域メディカルコントロール協議会における熱中症傷病者への対応等に関する救急活動要領の再確認

ウ クーリング資器材等の適切な救急資器材の整備、活用

(2) 救急隊員に対する熱中症予防

ア 天候に応じた、冷却ベスト等の活用による熱中症予防の実施

イ 救急活動後だけでなく、救急出勤前からのこまめな水分補給の実施

ウ 炎天下の活動における救急活動後の車内エアコンの活用等によるクールダウン可能な場所の確保

(熱中症対策リーフレット)

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2306/pdf/230614-1.pdf>

(連絡先) 消防庁救急企画室

Tel : 03-5253-7529 FAX: 03-5253-7539

担当: 長谷川 伊藤 渡邊(俊)

Mail : s8.watanabe@soumu.go.jp